

勝又 幹英様
大庭 崇彦様

発掘調査から見てくる沼津の歴史

沼津市教育委員会事務局文化振興課 小崎 晋様

遺跡の発掘調査には、遺跡の存否や範囲を確認するための試掘・確認調査、大学などの研究機関による学術目的の調査、公共団体が行う史跡整備に伴う調査、公共団体や民間による開発に伴って実施する発掘調査など、いくつかの種類が存在する。これらのうち、いわゆる発掘調査としてよく認識され、歴史的な発見があった際にマスコミなどにも取り上げられるものの大半が開発に伴うものである。これは遺跡の破壊を前提として発掘調査を実施し、記録を残すことで遺跡を保存する「記録保存」という手法で、発掘調査の大半を占める。



これまで沼津市では数多くの開発に伴う発掘調査を実施しており、その結果、沼津の歴史としてそれまで認識されていなかった新しい事実が明らかになっている。

そのような遺跡のうち、歴史的に注目すべきものとして、井出丸山遺跡、高尾山古墳、日吉廃寺跡、清水柳北1号墳があげられる。井出丸山遺跡は井出地内に所在する日本列島における最古級の遺跡で、出土した神津島産の黒曜石が旧石器時代に航海の存在を示していることで注目されている。高尾山古墳は東熊堂に所在する古墳時代初頭の前方後方墳で、東日本において最古級かつ最大規模の古墳である。日吉廃寺跡は富士見町地内に所在し、7世紀末に建立されたとされるスルガ最古とされる寺院跡である。清水柳北1号墳は、足高字尾上地内に所在する7世紀末～8世紀初頭の上円下方墳という特殊な形状をした墳墓であり、时期的に日本最後の古墳とも称されている。

また近年、弥生時代中期の遺跡の発見が相次いでおり、得られた新発見から、これまでの沼津市域においては本格的な開始時期が不明瞭であった弥生時代について、その状況がわかりつつある。

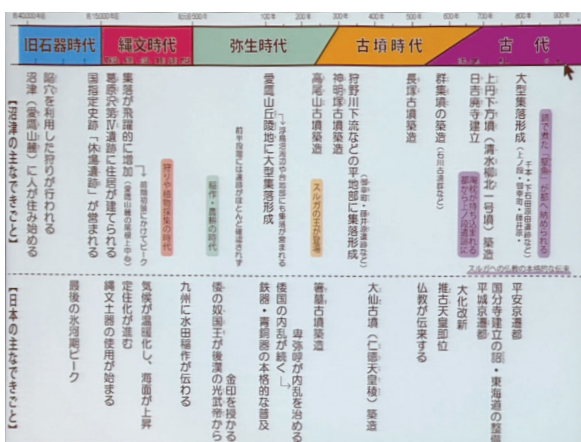
このように遺跡の発掘調査は、沼津に限らず地域の歴史に新しい情報をもたらしてくれるものであり重要である。しかし、それは常にこれまでの認識を補強するものであるとは限らない。これまで知られていなかった新しい情報や、他の遺跡での事例などと併せて歴史的な整合性を示す発見が得られることもあるが、これまでの歴史認識に修正が必要となるような事実が発掘調査によって分かることもある。

このことは、遺跡の調査によって得られた情報をどのように活用し、理解を深めていくかが問題であり、これまでの発掘調査成果から得られている情報と新たな発掘調査成果から得られる情報を、より客観的に結びつけ、冷静な分析を行うことが必要になる。それが新たな歴史事象の把握につながり、地域の歴史のより深い解明につながるという。



発掘調査の調査結果から得られる情報

- 1 新たな情報
 - ・ 時間（時代）の空白を埋める情報 高尾山古墳、西通北遺跡、中原遺跡
 - ・ 成果は凄いが詳細がよくわからない情報 清水柳北1号墳
 - ・ 当時の生活様式等を知ることができる情報 井出丸山遺跡
- 2 歴史的な整合性がわかる発見
 - ・ 他の遺跡での調査結果と結びつけることが可能な情報（自然災害も含む） 中原遺跡、西通遺跡
- 3 認識を変える必要が生じる発見
 - ・ これまでの認識を変更する必要がある情報 日吉廃寺跡



幹事報告

1. 富士宮RC事務所・事務局員変更のお知らせ
⇒新住所:富士宮市西町22-21 富士宮清掃(有) 内

スマイル・ボックス

2月合計 15,220円

大村会長…沼津市教育委員会文化振興課 小崎様、本日はよろしくお願いいたします。

峯村君…誕生日のお祝いをして頂きありがとうございます。

三好君…先週、妻の誕生祝いをありがとうございました。渡邊秀君…結婚記念のお祝いありがとうございます。18年経ち、19年目の新婚です。

上田君…誕生日と結婚記念日のお祝いありがとうございます。

渡邊真君…昨夜はEテーブル会を楽しませてもらいありがとうございました。「ニコニコ」。今後ともおじゃまでなければ、会長・幹事、どこのテーブル会にも参加させていただきますのでお誘い下さい。

高原君…まず、日経平均爆上がり、おめでとうございます。私、5月2日～6日にロスアンゼルスに5280地区の地区大会に参加し、ドジャースタジアムに行く予定です。